

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成22年2月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は、低調ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。
大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(11月)
乗用車新車新規登録台数、公共工事請負金額は前年を上回ったが、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(12月)
- **産業面**・・・鉱工業生産は、持ち直しの動きがみられる。
鉱工業生産指数は、季節調整済指数は前月を、原指数も前年を上回った。(11月)
- **雇用面**・・・雇用情勢は、厳しい状況にある。
きまって支給する給与、所定外労働時間とも前年を下回った。(11月)
求人倍率は、新規は前月を上回ったが有効は前月と同水準、新規求人数は前年を下回った。(12月)

○需要面の動き

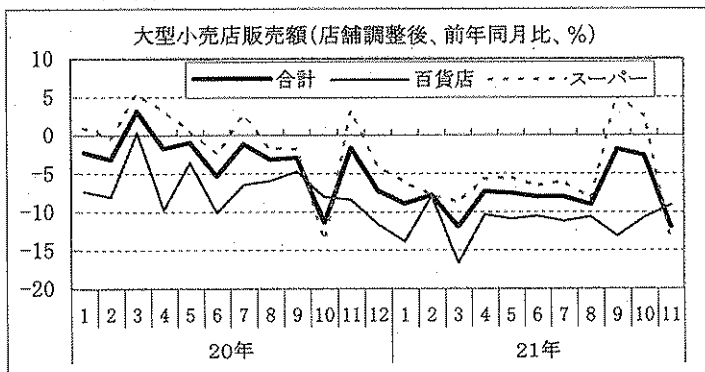
大型小売店販売額(11月)

全店舗の販売額は、53億8,000万円(前年同月比1.1%減)と5か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後では20か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	538,000	▲1.1	(▲11.9)
百貨店	192,600	▲9.1	(▲9.1)
スーパー	345,500	3.9	(▲13.6)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(11月)

35億8,500万円(前年同月比5.4%増)と3か月続けて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(12月)

1,600台(前年同月比26.5%増)と7か月続けて前年を上回った。普通車、小型車の区分は7か月続けて前年を上回り、軽自動車も2か月ぶりに前年を上回った。

新設住宅着工戸数(12月)

210戸(前年同月比39.0%減)と3か月ぶりに前年を下回った。持家系(前年同月比39.3%減)、貸家系(前年同月比38.7%減)ともに前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(12月)

4億800万円(前年同月比84.7%減)と6か月連続で前年を下回った。用途別では、医療・福祉(前年同月比73.1%減)、卸売業、小売業(前年同月比90.8%減)等で前年を下回った。

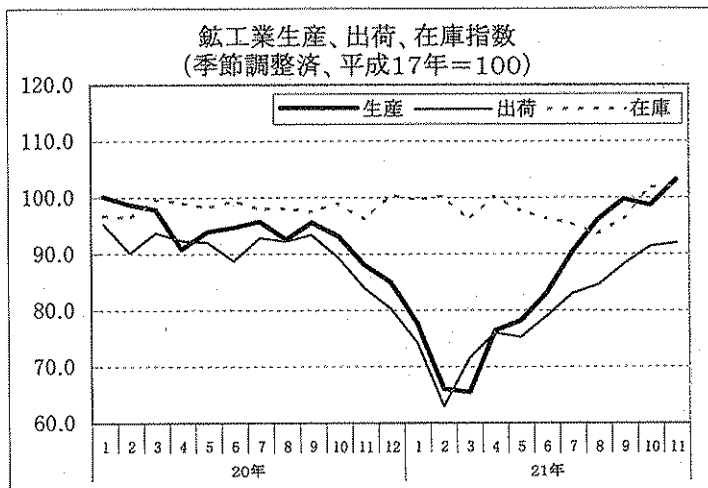
公共工事請負金額(12月)

44億1,700万円(前年同月比3.3%増)と5か月続けて前年を上回った。発注者別の内訳では、市町村(前年同月比160.1%増)で前年を上回ったが、それ以外の区分(国、県等)では全て前年を下回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(11月)

生産指数(季節調整済)は103.2(前月比4.6%上昇)と2か月ぶりに上昇となり、原指数も108.2(前年同月比19.8%上昇)と4か月続けて上昇となった。
内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが5.9%上昇となり3か月ぶりの上昇、電子部品・デバイスが10.7%上昇となり8か月連続の上昇、電気機械が12.3%上昇となり3か月ぶりの上昇、一般機械が1.2%低下となり2か月連続の低下となった。
在庫指数(季節調整済)は102.0と前月比0.2%上昇した。



大口需要電力実績(11月)

112,664千kwh(前年同月比0.7%減)と16か月続いて前年を下回った。鉱工業用の大口需用電力は主要4区分のうち、パルプ・紙(前年同月比0.7%増)が2か月続いて、その他の製造(前年同月比0.7%増)が16か月ぶりに前年を上回った。

青果物卸売量(12月、鳥取市場)

野菜が1,459t(前年同月比2.7%増)と4か月続いて前年を上回り、果実は1,060t(前年同月比8.9%減)と4か月続いて前年を下回った。

漁獲量(12月、境港)

8,554t(前年同月比32.2%減)と7か月ぶりに前年を下回った。

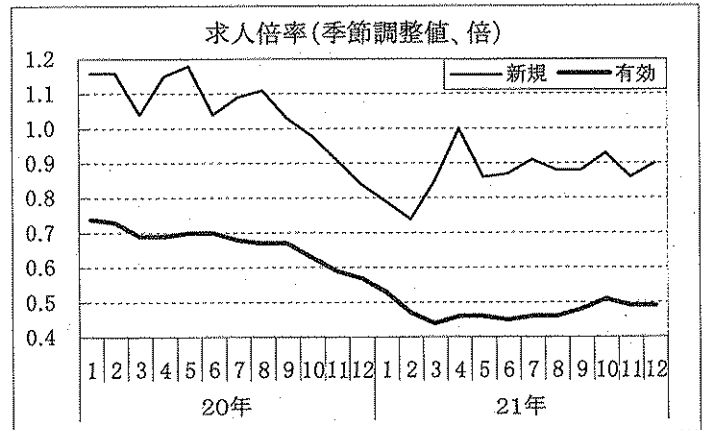
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(12月)

0.90倍(前月差0.04ポイント上昇、前年同月差0.06ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、2,617人(前年同月比9.0%減)と27か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(12月)

0.49倍(前月と同水準、前年同月差0.08ポイント低下)となっており、0.5倍を下回っている。



現金給与総額(11月)

252,215円(前年同月比2.0%減)と11か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、241,524円(前年同月比2.1%減)で18か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(11月)

8.0時間(前年同月比8.8%減)と16か月続いて前年を下回った。主力の製造業は5.5%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比19.8%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比44.8%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(11月末)

預金残高は、1兆9,334億円(前年同月比3.3%増)と11か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,267億円(前年同月比1.0%増)と7か月続いて前年を上回った。

○参 考

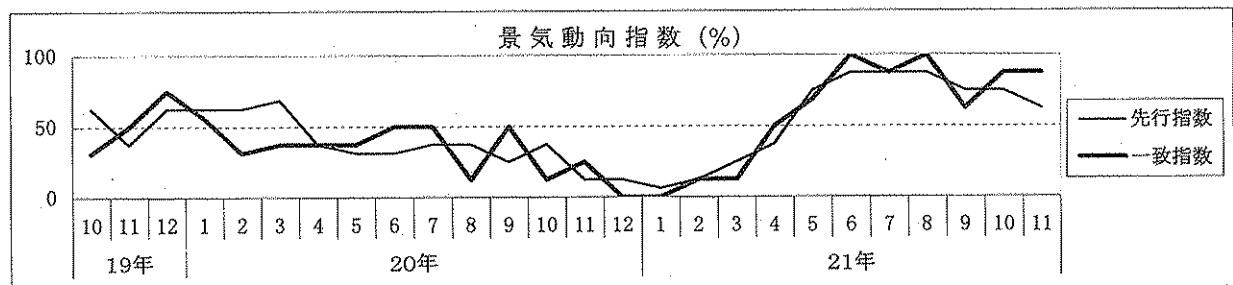
鳥取県景気動向指数(11月)

先行指数62.5%、一致指数87.5%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は7か月続いて50%以上となった。

一致指数は8か月続いて50%以上となった。

遅行指数は3か月ぶりに50%以上となった。



企業倒産(12月)

件数は4件(前年同月比50.0%減)で前年を下回り、負債総額は63億2,000万円(前年同月比585.5%増)で3か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(12月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.5となり、前月比(0.0%)は同水準となり、前年同月比(▲1.4%)は低下した。

鳥取県の推計人口(1月1日現在)

590,713人で、前月と比べて312人(0.05%)減少し、前年同月と比べて3,724人(0.63%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成21年11月調査)

平成21年10~12月期は、平成21年7~9月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがやや好調となっている。

平成22年1~3月期は、平成21年10~12月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもがきわめて不調となる見通しとなっている。